





# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産 課(室)		団体振興・金融			
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )			
事業名		漁業経営維持安定資金		含まれる事業数		1		事業開始年度		S51年度 経過年数 37年			
事業位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]						事業終了予定年度		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的]													
漁業者の固定債務の整理に必要な資金について利子補給を行うことにより、漁業者の経営の再建を図る。													
[事業内容]													
漁業者の固定債務の整理に必要な資金について利子補給を行う。 融資枠 50,000千円 利子補給率 1.25% 利子補給期間 10年以内													
(単位：千円)													
[予算額および指標の推移等]													
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移		54	54	677	1,222	1,592	316.1%						
2月現計予算額の推移		0	17	600	922	887	869.8%						
決算額の推移		0	17	600	922		1741.5%						
事業効果 の推移	活動指標	融資額(千円)	0	49,100	36,800	0	22,400	△ 31.3%					IV
	指標	融資件数	0	8	3	0	1	△ 40.6%					IV
	成果	融資実績(%)	0	98	74	0	45	△ 31.2%	融資額/融資枠				IV
	指標	融資実績(%)	0	100	100	0	100	△ 25.0%	融資件数/融資対象者数				IV
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]					
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項					
予算額(単位：千円)		887		融資枠の見直し: 100,000千円→50,000千円(15年度) H23.6月 損失補償制度を創設 $50,000千円 \times 18.6\% \times 45\% = 4,185千円$									
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源												
	一般財源		887										
[事業の評価]													
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価]												
	平成以降は融資実績が無かったが、平成21年度に国による漁業緊急補償対象事業の実施に伴い貸付要件が緩和されたことにより、当該資金の活用が促進された。 (昭和63年度に13,700千円の融資実績あり。平成元年度～平成20年度実績なし、平成21年度49,100千円、平成22年度36,800千円、平成23年度実績なし、平成24年度22,400千円) [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 当資金は、経営が著しく困難となった漁業者が、経営再建のために利用するものであり、自然環境に水揚げを大きく左右される漁業経営ではいつか資金が必要となるか予測ができないことから、経営再建が必要な漁業者が活用できる最後の資金として今後も継続していく。												
	評価に基づく今後の対応 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他												
	見直し額											千 円	



# 平成24年度事務事業カルテ

会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
------	--

事業名 漁業近代化資金助成事業	含まれる事業数 1	所属 農林水産部(庁)	水産課(室)	団休振興・金融	課(室)	団休振興・金融
事業区分 <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 S44年度 経過年数 44年	事業終了予定年度 一年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		

**[事業目的]**  
 漁業者の設備投資に必要な資金について利子補給を行い、漁業の近代化を促進する。

**[事業内容]**  
 漁業者の設備投資に必要な資金に利子補給を行う。  
 融資枠 600,000千円  
 利子補給率 0.40%～1.25% (末端 1.20%)  
 利子補給期間 20年以内

**[予算額および指標の推移等]** (単位：千円)

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	20,639	19,958	19,884	17,572	15,480	△ 6.8%		
2月現計予算額の推移	17,162	17,749	15,413	13,605	11,919	△ 8.5%		
決算額の推移	17,162	17,749	15,412	13,585		△ 7.2%		
事業効果の推移								
活動指標	融資額(千円)	272,150	146,750	99,900	104,900	376,990	46.6%	I
指標	融資件数	13	11	8	8	12	1.8%	II
成果指標	融資実績(%)	32.0	17.3	11.7	12.3	62.8	84.3%	I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額(単位：千円)	11,919	融資枠の見直し… ~H10 11億円 → H11~H23 8億5千万円 → H24~ 6億円	
財源内訳		・台風23号により漁具等に被害を受けた漁業者等の経済的負担を軽減するため、従来の利子補給に県費上乘せ制度を創設(ただし16年度に貸付を行った場合のみ)	
国庫			
その他特定財源	817		
一般財源	11,102		

**[事業の評価]**

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 近年の漁業経営の悪化などにより設備投資を控えている漁業者が多く、利用実績は横ばいにて推移していたが、漁船の耐用年数到来に伴う漁船買い替えや機械等の整備投資により、24年度の融資額は大きく増加している。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 漁船・漁具等の購入の際に最も利用される漁業振興資金であり、漁業者の需要状況等に応じた融資枠の見直しを行い継続していく。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 見直し額	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 千円
-------	--	-------------	---	---	--

# 平成24年度事務事業カルテ

										会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )		
			所 属	農林水産 部(庁)		水産 課(室)		団体振興・金融			G		
事業名	水産管理費		含まれる事業数	1		事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H11年度 経過年数 13年	事業終了 予定年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
[事業目的] 各種団体に対する負担金													
[事業内容] 負担金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本海海況情報事業負担金</li> <li>・ (社) マリノフォーラム21負担金</li> <li>・ (社) 全国豊かな海づくり協会負担金</li> <li>・ 全国湖沼河川養殖研究会負担金</li> <li>・ (社) 日本水産資源保護協会負担金</li> <li>・ 漁場油濁被害救済基金拠出金</li> </ul>													
(単位：千円)													
[予算額および指標の推移等]													
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移		4,016	4,421	4,297	3,742	3,742	△ 1.4%						
2月現計予算額の推移		4,316	4,431	4,077	3,742	3,742	△ 3.4%						
決算額の推移		4,316	4,431	4,077	3,742	3,742	△ 4.5%						
事業効果 の推移	活動 指標	負担金拠出団体	6	6	6	6	0.0%					II	
	成果 指標												
	計画の達成状況	[目標名]	年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]						
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項					
予算額(単位：千円)		3,742		環日本海水産国際交流推進協議会負担金を平成13年度をもって休止 海と渚環境美化推進機構負担金を平成14年度をもって廃止 (社)日本栽培漁業協会の解散に伴い、同協会への負担金を15年度をもって廃止 (社)日本栽培漁業協会の解散後、新たに設立された(社)全国豊かな海づくり協会 への負担金を平成16年度より予算計上									
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源												
	一般財源		3,742										
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価]												
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 水産行政に密接に関係する団体に対する負担金であり、水産職員の資質の向上や情報交換のため、今後とも継続していく。マリノフォーラム21負担金については事業効果を踏まえ24年度で廃止する。												
	評価に基 づく今後 の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見直し額	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 △ 180	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円								

# 平成24年度事務事業カルテ

会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
------	--

事業名 地域漁業総合管理対策事業	含まれる事業数 1	所属 農林水産部(庁)	水産課(室)	水産試験場	事業区分 <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	H10年度 経過年数 15年	事業終了 予定年度 一 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
---------------------	--------------	----------------	--------	-------	---	--	----------------------	----------------------	---

**[事業目的]**  
 本県漁業は、漁業就業者の高齢化・資源の悪化による漁獲量の変化および近年の魚価低迷などの情勢の変化により漁業経営が厳しくなっており、将来にわたって水産資源を保護し持続的に利用していくためには、資源を利用する者による漁業管理を積極的に推進する必要がある。  
 特に沿岸漁業にあっては零細な小型漁船漁業を中心に、周年多種多様な漁業が営まれており、地域の主要漁業とこれを中心に営まれる各種漁業との関係を整理し、適正漁獲量や努力量および許可制度の見直し等の公的な管理方を確立することで、地域における適正かつ総合的な漁業管理を推進する。

**[事業内容]**  
 (1) 基礎調査  
 ・ 標本船調査：地域ごとの操業実態の把握  
 ・ 水槽実験：三枚網、一枚網の特性の把握  
 ・ 調査船調査：時間帯によるヒラメ虫喰い被害の把握  
 (2) 操業試験  
 ・ 備船調査：三枚網、一枚網の漁獲性能の把握

**[予算額および指標の推移等]** (単位：千円)

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	2,000	1,000	7,098	6,256	5,231	132.9%		
2月現計予算額の推移	2,000	1,000	7,098	5,534	5,231	133.1%		
決算額の推移	2,000	1,000	6,909	5,436		173.2%		
事業効果の推移	活動指標							
	指標	標本船調査			23	23	0.0%	II
	指標	船舶調査回数			5	5	0.0%	II
	成果指標	刺網漁業経営市町			10	10	0.0%	II
指標	刺網漁業経営体数			307	300	△ 2.3%	III	

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	5,231	平成23年度より地域漁業管理総合対策事業を統合	平成23年度末で資源回復計画制度が終了
財源内訳	国庫		
	その他特定財源		
	一般財源	5,231	

**[事業の評価]**

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 漁業者全体の高齢化が進む中で、まず県下の広い地域で営まれている刺網漁業の衰退（経営地区、経営体数の減少）を抑制することが必要である。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 刺網は漁獲物を絡め獲る漁法であることから、漁獲物品質の向上対策と、網処理作業の省力化対策を検討する。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し  <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了  <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他	見直し額 △363 千 円
-------	---	-------------	---	------------------

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産 課(室)		流通・消費拡大		G	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業名	沿岸漁場環境改善事業	含まれる事業数	1	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H20年度 経過年数 5年	事業終了 予定年度	H24年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的]														
良好な沿岸漁場環境を確保するため、県が市町と協力し、里海である本県沿岸漁場環境の保全・改善を図り、生産性の向上へつながる取組を支援する。														
[事業内容]														
事業実施主体 市町、漁業協同組合 補助率 1/3以内 (市町の補助率 概ね1/3)														
1 沿岸漁場の底質改善 2 沿岸漁場の有害物除去 3 水生生物を利用した水質浄化 4 魚礁の整備														
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)														
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類		
当初予算額の推移		10,000	9,300	8,969	9,430	9,430	△ 1.4%							
2月現計予算額の推移		8,549	8,961	8,880	9,430	9,430	2.5%							
決算額の推移		8,549	8,961	8,880	9,430	9,430	3.4%							
事業効果 の推移	活動 指標	海底耕耘および有害物除去の実施延べ面積[ha]	1680	1,840	1,860	1,960	2,060	5.3%					I	
	成果 指標	貝類の放流数[kg]	1300	700	780	1,480	680	0.2%					II	
	成果 指標	COD値 (mg/l)	1.8	1.4	1.3	1.7	1.7	0.5%	COD値：海水に占める有機物(ごみ等)の量。数値が少ない方が良い。				II	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]												
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項						
予算額 (単位：千円)		9,430												
財源内訳	国 庫													
	その他特定財源													
	一般財源		9,430											
[事業の評価]														
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 沿海11市町のうち7市町が事業を実施し、漁場保全を進めている。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 良好な沿岸漁場環境の確保のため今後も必要であり、対象地区を見直しながら支援を継続していく。					評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> △ 330	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 <input type="checkbox"/> 千 円					



# 平成24年度事務事業カルテ

会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
------	--

事業名	豊かな藻場・浅場保全対策事業	含まれる事業数	3	所 属	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	農林水産 部(庁) <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	水産	課(室)	流通・消費拡大	G
事業位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しい方向をひらく農林水産業]	事業区分	事業開始年度	事業終了予定年度	H22年度 経過年数 3年	H26年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		

**[事業目的]**  
 藻場等は、水産資源の保護・培養と水質浄化等の公益的機能を果たす国民全体の共有財産である。これらを維持、保全するため地域住民が地域ぐるみで取り組む共同活動に対して支援する。

**[事業内容]**  
 ○地域協議会の設立、運営（構成：県、市町、漁協等）  
 1. 地域活動指針の策定、事業計画書の作成 2. 地域組織説明会の開催、活動組織の指導、事業推進に関する普及啓発 3. 交付金交付事務、資金の積立・管理  
 ○活動組織による取組への対応  
 <活動組織への支援> 1. 活動組織の立ち上げ、活動計画の策定 2. 市町との協定締結（活動組織が実施する活動内容を市町が承認し、協定を締結する。）  
 ○県、市町による事業履行状況の確認、審査等  
 <県（都道府県推進事業）> 1. 第三者機関の設置、運営 2. 市町の指導 等  
 ○市町（市町村推進事業）  
 1. 協定の締結・審査、活動組織に対する指導 2. 保全活動の審査確認 等

**[予算額および指標の推移等]** (単位：千円)

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移			7,513	7,513	7,513	0.0%			
2月現計予算額の推移			7,513	7,383	6,913	△ 4.1%			
決算額の推移			6,812	7,383		8.4%			
事業効果 の推移	活動 指標	事業実施活動組織数		6	6	6	0.0%	米ヶ脇、梶、崎、安島、日向、久々子	II
	成果 指標	事業活動人数(人)		3,105	3,365		8.4%		I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区 分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	6,913		
財源内訳	国 庫	688	
	その他特定財源		
	一 般 財 源	6,225	

**[事業の評価]**

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 県内で活動する6つの活動組織が、今年度も沿岸の藻場・浅場を保全する活動に積極的に取り組んだ。この活動は、沿岸の藻場・浅場の保全だけでなく、地域のコミュニティの維持・発展に寄与している。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後も沿岸の藻場・浅場が保全されるように、積極的に支援していく。計画策定・修正にかかる経費については補助対象外とする。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し  <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了  <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他	見直し額	△ 723 千円
-------	--	-------------	---	------	----------





# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産 課(室)		流通・消費拡大 G	
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )	
事業名		若狭湾型養殖業支援事業		含まれる事業数		1		事業開始年度		H23年度 経過年数 2年	
事業位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しい方向をひらく農林水産業]						事業終了予定年度		H25年度	
										<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的]											
養殖生産量の増大や健全な発展のために、意欲ある漁業者グループが行う新しい養殖手法導入等の活動を支援する。											
[事業内容]											
意欲ある漁業者グループが行う新しい養殖手法導入等の活動支援（補助率 1/2以内）											
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		結果分類	
当初予算額の推移					5,000	5,000	0.0%				
2月現計予算額の推移					5,000	5,000	0.0%				
決算額の推移					2,340						
事業効果 の推移	活動 指標	活動グループ数			3	4	33.3%	敦賀(1グループ)、小浜(2グループ)、高浜(1グループ)		I	
	成果 指標	養殖生産量(t)									
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]					
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況		特記事項					
予 算 額 (単位：千円)		5,000									
財源内訳	国 庫										
	その他特定財源										
	一 般 財 源		5,000								
[事業の評価]											
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 敦賀、小浜、高浜の3地域で新魚種導入等の新たな取組みが行われている。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し						
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後も意欲ある漁業者グループの取組みに支援することにより、養殖経営基盤の強化を図っていく。 予算額については、これまでの実績を元に適切な規模に見直す。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了						
			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他						
			見直し額	△ 364	千 円						

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産 課(室)		漁業管理			
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 ( ) <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )			
事業名		漁場環境・資源管理推進事業		含まれる事業数		1		事業開始年度		H24年度 経過年数 1年			
事業位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ービジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しい方向をひらく農林水産業]						事業終了予定年度		24年度			
										<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的]													
漁村環境改善や操業の効率化を図るため、漁業者が一斉休漁等の資源管理を行いながら実施する漁場、漁港環境の保全活動を支援する。													
[事業内容]													
○漁業者が資源管理対策として実施する一斉休漁等を活用した、海上のゴミ清掃等漁場環境の保全活動や漁業地域の環境美化活動に対して支援 ・沿海漁協が地域一斉に行う漁場保全活動経費の燃油代、消耗品相当額を支援 ○小型底曳網漁場の海底のゴミ清掃等漁場環境の保全活動に対して支援 ・底曳網漁船による海底清掃の活動経費のうち燃油代、消耗品相当額を支援													
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移						5,125							
2月現計予算額の推移						4,725							
決算額の推移													
事業効果 の推移	活動 指標	海上清掃活動回数					27						
	成果 指標	清掃結果(回収量 kg)											
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]					
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項					
予 算 額 (単位：千円)		4,725											
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源												
	一 般 財 源		4,725										
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価]						評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額		<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円	
	漁業者自ら漁場を清掃することで、漁場・漁港の環境美化が図られた。また、海底ゴミを回収することで、底曳漁場を保全することができた。												
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]												
	排出者が不明な漂流ゴミも多く、燃油高騰が続くことから、今後とも漁業者の漁場保全活動を支援していく。												

# 平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産		課(室)		漁業管理、経営支援・担い手		G				
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度		事業終了予定年度		事務区分				
事業名 漁業と観光のトータル化支援事業				含まれる事業数		3		H19 年度 経過年数		6 年		H27 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
福井新々元気宣言における 位置付け <input checked="" type="checkbox"/> 有 ービジョン〔元気な産業〕 <input type="checkbox"/> 無 政策〔観光とブランドを産業の柱に〕																		
[事業目的] 漁家民宿（越前・若狭漁師の宿）が行う観光の視点を取り入れた活動を支援し、誘客を促進するとともに、内水面漁業資源の増大を図り、川や湖での賑わいを創出する。																		
[事業内容] (1) 漁家民宿の活性化（H23～） ・統合した漁家グループによるリピーター確保、閑散期対策につながる活動に対して支援（補助率1/2） ・全県統一的なサービスシステムの構築を目指した交流会の開催 (2) 漁家民宿用養殖種苗生産（H23～） ・栽培漁業センターにて漁家民宿向けにマダイの稚魚を生産し供給 (3) 川での賑わい創出（H23～） ・内水面におけるサクラマスの資源拡大、漁場管理・種苗生産、誘客イベント等に対して支援（補助率1/2）																		
(単位：千円)																		
[予算額および指標の推移等]																		
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等						結果分類				
当初予算額の推移		17,560	20,860	13,817	13,399	13,647	△ 4.0%											
2月現計予算額の推移		17,340	20,065	12,394	12,900	11,288	△ 7.7%											
決算額の推移		16,183	16,532	11,880	7,587	△ 20.7%												
事業効果 の推移	活動 指標	統合した漁家民宿グループ数				6	8	33.3%							I			
	指標	イベント開催数				5	4	3	8	8	30.4%	サクラマス啓発(放流含む)イベント						I
	成果 指標	漁家民宿宿泊客数				341,000	362,000	388,000	412,000	384,000	3.2%	アンケート集計による						II
	指標	イベント参加人数				1,800	1,000	4,500	2,486	1,849	58.8%	誘客活動支援による増加した宿泊客数						I
計画の達成状況		[目標名]				年度整備水準〔 〕 / 整備目標 年度〔 〕 = 〔 〕												
区 分		平成24年度予算額				事業開始後の見直し状況						特記事項						
予算額〔単位：千円〕		11,288																
財源内訳	国 庫																	
	その他特定財源		1,200															
	一般財源		10,088															
[事業の評価]																		
所属の 方針		[活動指標、成果指標に対する評価] 宿泊客の誘客に意欲あるグループを支援することにより、宿泊客数の増加を指標化できる。また、漁家民宿が中心のグループであることから、宿泊客数の増加は漁家経営の安定化を図れ、観光業と連携した魅力ある漁業・海業の情報発信が期待される。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 当事業を活用し、観光業界と連携し体験漁業に取り組み始めた地域や地魚料理の特産化し宣伝集客を行うなど漁業と観光業が協働し誘客に成果が出た。今後は誘客活動を定着化させ、さらにリピーターを確保することにより安定的な観光客を確保し、魅力ある漁村・海業として展開させていく必要がある。内水面水産資源・遊漁普及啓発事業は事業効果を踏まえ今年度で廃止する。				評価に基 づく今後 の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額		<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止		<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他		△ 396 千 円				







# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産 課(室)		流通・消費拡大		会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業名	学校給食における地場水産物の普及推進事業	含まれる事業数	2	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H22年度 経過年数 3年	事業終了 予定年度	H26年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
事業位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]												
[事業目的]													
魚介類の消費は減少傾向にあり、“魚離れ”が進んでいることから、学校給食等における魚介類の利用回数を増やすことにより、魚介類への関心を高め、「魚離れ」の抑制と魚食回帰を目指す。													
[事業内容]													
①地場産水産物普及推進事業 小中学校の学校給食において、地場産の魚を利用しやすくするため、県外産の魚と地場産の魚との市場価格の差額を補填する。 ②特産水産物提供事業 中学3年生を対象に、学校給食等において、特産水産物である「セイコガニ」を提供するとともに、カニの食べ方を学んでもらう。													
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移				6,494	6,494	6,490	0.0%						
2月現計予算額の推移				6,494	6,494	6,490	0.0%						
決算額の推移				6,367	6,484		1.8%						
事業効果 の推移	活動 指標	差額補填対象魚種		9	10	11	10.5%					I	
	成果 指標	セイコガニ提供学校数		81	81	81	0.0%					II	
	成果 指標	学校給食における魚の地産地消率		46	53	53	7.6%	地産地消率調査(農林水産振興課調べ)				I	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]											
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項					
予算額(単位：千円)		6,490											
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源												
	一般財源		6,490										
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 差額補てん対象魚種を増やし、学校給食の地魚メニューに広がりを持たせることで、地魚の普及効果が高まる。また、セイコガニの食べ方を学ぶ機会を提供することで、魚食文化の継承につながる。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 給食での地魚提供に加えて、授業で魚の講習を行うことにより、魚への関心を高め、魚離れの抑制と魚食回帰を目指す。					評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他				
							千 円						

# 平成24年度事務事業カルテ

会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
------	--

事業名	県産水産物付加価値向上事業	含まれる事業数	3	所属	農林水産部	水産課	経営支援・担い手	G
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H22年度	事業終了予定年度	H26年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しい方向をひらく農林水産業]				経過年数	3年		

**[事業目的]**  
 漁業者が漁業協同組合等と共動して船上段階から鮮度向上対策を実施する推奨策として、水揚げ額に応じた生産加算方式により支援するとともに、商品力アップに必要な設備・機器の導入経費を支援する。

**[事業内容]**  
 ①商品力アップ推奨事業（ソフト事業）  
 漁業者が漁業協同組合等と共動して『漁業者による商品力アップ事業計画』に基づく鮮度向上策を実施する場合、指定された漁法・魚種の漁獲量に応じ支援（定額）するとともに、実際の商品力アップの成果により加算を行う。  
 ②商品力アップ整備事業（ハード事業）  
 漁業者と漁業協同組合等が共動して『漁業者による商品力アップ事業計画』に基づく鮮度向上策を実施する場合、鮮度管理のための高鮮度流通機器（微粒砕水装置、海水殺菌・冷却装置）や環境高度対応機関（省エネエンジン）の整備に対して支援する。

(単位：千円)

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移			82,200	92,700	102,900	11.9%			
2月現計予算額の推移			82,200	77,422	48,741	△ 21.4%			
決算額の推移			38,793	64,270		65.7%			
事業効果の推移	活動指標	商品力アップに取り組むグループ数		41	42	42	1.2%	商品力アップに取り組む漁業者のグループ数	II
	指標	整備実績		14	21	13	6.0%	省エネエンジン H24 11台、冷水機 H24 2台	I
	成果指標	商品力アップ取組率 (%)		69	75		8.7%	対象魚種漁獲量に占める商品力アップ取組み量	I
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]			

区分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	48,741	H24 事業名変更「漁業者による商品力アップ事業」→「県産水産物付加価値向上事業」	
財源内訳	国庫	28,541	
	その他特定財源		
	一般財源	20,200	

**[事業の評価]**

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 42グループが商品力アップ事業に取り組み、鮮度向上に取り組む漁業者の意識向上が見られる。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] ソフト事業については24年度で廃止となる。今後も漁業者、関係漁協、県漁連、流通加工業者と連携し、魚価向上に繋がる取組みについて支援を行い、商品価値の向上に努める。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 見直し額    △ 47,022    千円
-------	--	-------------	---

# 平成24年度事務事業カルテ

会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )															
事業名		越前・若狭のさかな流通体制改善事業		含まれる事業数		2		所属		農林水産部		水産課		流通・消費拡大			
事業内容		<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な産業] ] <input type="checkbox"/> 無 政策 [新しい方向をひらく農林水産業] ]		事業区分		<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度		H23年度 経過年数 2年		事業終了 予定年度 H24年度		事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的]																	
「越前・若狭のさかな」の流通力の向上を図るため、水揚げから消費市場までの流通過程において、鮮度・品質の維持に必要な機器の導入費用を支援する。																	
[事業内容]																	
・水産流通業者が鮮度・品質等の改善を図るために必要となる機器等の整備を支援する（1/2以内）。																	
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>																	
区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類									
当初予算額の推移				9,700	9,600	0.1%											
2月現計予算額の推移				4,600	4,106	1.1%											
決算額の推移				3,775													
事業効果 の推移	活動 指標	整備実績			52	52	0.0%	コンテナ50個、フォークリフト2台	II								
	成果 指標	流通改善に取り組む市場数			4	4	0.0%		II								
計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]																	
区分																	
区分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項														
予算額 (単位：千円)	4,106																
財源内訳	国庫	4,006															
	その他特定財源																
	一般財源	100															
[事業の評価]																	
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 4市場が流通改善に取り組み、漁業者、流通関係業者の意識向上が見られる。					評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し								
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 市場への機器整備完了に伴い24年度で事業完了となる。						<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了								
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他								
							見直し額	△ 9,600 千円									

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産		課(室)		流通・消費拡大		G		
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		H23年度 経過年数 2年		<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )				
事業名 アワビ種苗供給事業 含まれる事業数 1 福井新々元気宣言における位置付け <input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]																
[事業目的] 栽培漁業センターで行っていたアワビの種苗生産について、効率的な運営を図るため23年度より外部委託する。																
[事業内容] 各漁業協同組合への種苗の安定供給を図るため下記業務を外部委託する。 委託先 : 福井県漁港漁場協会 業務内容 : 各漁業協同組合および財団法人 京都府水産振興事業団との連絡調整業務 種苗の受取りおよび配送業務 (価格の差額補てんに必要な業務を含む)																
(単位:千円)																
[予算額および指標の推移等]																
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等						結果分類		
当初予算額の推移					3,012	3,012	0.0%									
2月現計予算額の推移					3,012	3,012	0.0%									
決算額の推移					3,012											
事業効果 の推移 指標	活動 指標	供給漁業協同組合数			11	11	0.0%							II		
	成果 指標	供給個数(千個)			260	264	1.5%							II		
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度[ ] = [ ]														
区 分		平成24年度予算額				事業開始後の見直し状況						特記事項				
予 算 額 (単位:千円)		3,012														
財源内訳	国 庫															
	その他特定財源															
	一 般 財 源		3,012													
[事業の評価]																
所属の 方針		[活動指標、成果指標に対する評価] 漁業者自らがアワビの中間育成および放流を積極的に実践しており、「つくり育てる漁業」に対する意識啓発および地域の活性化が図られている。				評価に基 づく今後 の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し								
		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了														
		<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他														
		見直し額		千 円												
[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 採貝採藻漁業の重要魚種となっているアワビは、地先型の資源として漁業者からの期待も大きいことから、今後も本事業を継続して実施していく。																

# 平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )							
所 属		農林水産 部(庁) 水産 課(室) 流通・消費拡大 G							
事業名	栽培漁業事業化総合推進事業	含まれる事業数	3						
事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 2 年						
事業位置付け	<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業終了予定年度 H27 年度						
[事業目的]									
漁業者自らが行なうヒラメの中間育成・放流事業を支援し、資源の維持・回復を図り、「つくり育てる漁業」を推進する。									
[事業内容]									
事業主体	福井県・福井県漁港漁場協会								
補助率	1/2、1/3								
推進活動事業	事業推進のための協会活動、研修活動（補助率：1/2）								
育成放流事業	ヒラメ種苗の中間育成・放流（補助率：1/3）								
放流効果調査	放流魚の再捕状況、放流手法の検討								
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)									
区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移				4,447	4,437	△ 0.2%			
2月現計予算額の推移				4,447	4,437	△ 0.2%			
決算額の推移				4,447					
事業効果の推移	活動指標	種苗収容尾数(千尾)			400	389	△ 2.8%		III
	成果指標	放流尾数(千尾)			225	293	30.2%		I
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]			
区 分	平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項		
予 算 額 (単位：千円)	4,437								
財源内訳	国 庫								
	その他特定財源	1,990							
	一 般 財 源	2,447							
[事業の評価]									
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価]				評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	
	漁業者自らがヒラメの中間育成および放流を積極的に実践しており、中間育成技術の向上、放流サイズを大型化するなど栽培漁業に対する意識の向上が見られる。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 日本海中西部7府県が連携した放流、効果調査を実施することにより、放流効果を明らかにし、資源の共同管理を目指していく。調査にかかる旅費については、効率化を図り必要最低限の額に見直す。					<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了	
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他	
						見直し額	△77	千 円	



# 平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )			
			所 属	農林水産 部(庁)		水産 課(室)		水産試験場						
事業名	アユ漁場環境調査事業		含まれる事業数	1		事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 2 年	事業終了予定年度	H25 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
[事業目的]														
天然アユ資源の海域における変動要因の解明およびアユの生息に適した河川づくり手法の開発を行う。														
[事業内容]														
(1) アユの降下量と遡上量の減少要因の解明 ・ 降下・遡上期における水温変化および餌料生物量等の定量調査 ・ 早期遡上情報の予測技術の向上 (2) アユ生息に適した河川づくり手法の開発 ・ モデル河川において漁場環境改善策を施し、アユの生息密度・付着藻類等の調査を行う。														
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類	
当初予算額の推移					1,990	2,041	2.6%							
2月現計予算額の推移					1,990	2,041	2.6%							
決算額の推移					1,258									
事業効果 の推移	活動 指標													
	成果 指標	河床改善によるアユ生息密度の変化				8	10	25.0%	(尾) 400㎡におけるアユの生息数			I		
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ — ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]												
区 分		平成24年度予算額			事業開始後の見直し状況			特記事項						
予算額(単位：千円)		2,041												
財源内訳	国 庫													
	その他特定財源													
	一 般 財 源	2,041												
[事業の評価]														
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 河床改善による漁場環境改善の効果的な手法を開発し、さらなる効果の向上を目指す。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 各河川への放流量調整に役立つ情報を早期に発信できるよう、モニタリングを継続し精度向上を図る必要がある。また、最適な漁場環境改善手法を関係漁協等に提示、指導することで内水面漁業の振興を図っていく。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他						
						千 円								

# 平成24年度事務事業カルテ

会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計								
	<input type="checkbox"/> 特別会計	(		)					
	<input type="checkbox"/> 企業会計	(		)					

事業名	漁場保全対策推進事業	含まれる事業数	1	所 属	農林水産 部(庁)	水産	課(室)	流通・消費拡大	G	
福井新々元気宣言における 位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年 H12年度 経過年数 13年	事業終了 予定年度 H26年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

**[事業目的]**  
 浅海と内水面漁場環境の監視および水質汚濁に関する情報収集を行うことにより、漁業被害を防止・軽減し、水産資源の保全と漁業経営の安定を図る。

**[事業内容]**  
 浅海漁場における漁業被害防止のための漁場監視と水産生物の環境に関する調査研究を行う。  
 また、内水面漁場について漁場監視のための水質調査および生物環境調査を行い、水産環境指針値の維持に努めることにより漁場環境保全を図る。  
**調査内容**  
 海面 水質（水温、D0、塩分、pH）の測定、生物モニタリング調査（藻場調査、底生動物調査）  
 内水面 水質（水温、D0、pH、COD、栄養塩）の測定、生物モニタリング調査（付着生物・底生動物調査、魚類相調査、大型水草群落調査）

**[予算額および指標の推移等]** (単位：千円)

区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移		3,436	3,508	3,508	3,508	3,422	△ 0.1%		
2月現計予算額の推移		3,436	3,408	3,508	3,508	3,422	△ 0.1%		
決算額の推移		3,433	3,365	3,121	3,227		△ 1.9%		
事業効果 の推移	活動 指標	水質調査回数(海面)	64	64	64	64	0.0%		II
	成果 指標	水質調査回数(内水面)	96	96	96	96	48	△ 12.5%	III
	成果 指標	水質汚濁による漁業被害件数	0	0	0	0	0	0.0%	II
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]			

区 分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	3,422	内水面水質調査 12回→6回(H24)	
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	3,422		

**[事業の評価]**

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 毎年、水質調査および生物環境調査を行い、漁場の監視を継続している。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 水質汚濁による漁業被害の発生を監視し、未然に防止・軽減するために、海面、内水面漁場の環境 保全調査頻度見直しを図り、今後も効率的に継続する。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	△178	千 円





# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産 課(室)		団体振興・金融		会計区分 <input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名		漁協経営強化総合対策事業		含まれる事業数		2		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 H9年度 経過年数 16年		事業終了予定年度 H27年度		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
事業位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]		事業区分						事務区分							
[事業目的]																	
漁協の経営基盤は総じて脆弱で規模も零細である。しかし、昨今、国連海洋法条約の発効に伴うTAC制度の導入等により、漁協の役割は今後ますます重要となっている。したがって、漁協の合併等を積極的に推進し、その事業規模を拡大することにより漁協経営の強化を図る。																	
[事業内容]																	
(1) 協議会の運営 (2) プロジェクトチームの派遣による経営診断に対する一部助成 (3) 漁協役員に対する研修会実施経費に対する一部助成																	
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)																	
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類				
当初予算額の推移		8,836	5,076	1,263	844	564	△ 46.0%										
2月現計予算額の推移		8,836	5,076	1,263	844	564	△ 46.0%										
決算額の推移		8,809	4,956	1,107	673		△ 53.5%										
事業効果 の推移	活動指標	経営診断回数	23	17	27	27	10.9%						I				
	指標	漁協役員研修回数	4	12	18	12	72.2%						I				
	成果指標	合併漁協数	0	0	0	0	0.0%						II				
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]															
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項									
予 算 額 (単位：千円)		564						当該事業では、漁協経営の強化を図るために漁協の合併等を推進することを目的としている。 合併漁協数 H13:5(高浜)、H18:4(美浜)									
財源内訳	国 庫																
	その他特定財源																
一 般 財 源		564															
[事業の評価]																	
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 漁協の経営診断や職員研修を実施することにより、漁協の経営状態の把握、経営強化を図っている。							評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し						
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 漁協自営による市場運営について、系統団体と共にそのあり方を整理する。								<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他								
							見直し額	千 円									

# 平成24年度事務事業カルテ

会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )								
所 属		農林水産 部(庁) 水産 課(室)								
事業名		漁業調整委員会運営事業								
含まれる事業数		2								
事業区分		<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他								
事業開始年度		S25年度 63年								
事業終了予定年度		S25年度 63年								
事務区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務								
[事業目的] 漁業法、漁業調整規則等に関する知事の諮問に対し、漁業等の実態を調査した上で、的確な答申または適切な指示を発動し、漁業調整の円滑化、漁業秩序の維持を図る。										
[事業内容] 福井海区漁業調整委員会および福井県内水面漁場管理委員会の開催、委員会が答申するために必要な漁業実態調査および入会漁業の調整を行うとともに、全国各海区漁業調整委員会・全国各内水面漁場管理委員会との連絡調整を行う。										
(単位：千円)										
[予算額および指標の推移等]										
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		4,453	4,453	4,453	4,186	4,186	△ 1.5%			
2月現計予算額の推移		4,377	3,803	3,747	3,352	4,186	△ 0.1%			
決算額の推移		4,377	3,803	3,158	3,352	△ 8.0%				
事業効果 の推移	活動 指標	委員会開催回数		12	9	10	10	10	△ 3.5%	III
	成果 指標	答申件数		5	3	4	4	3	△ 7.9%	IV
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]						
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項		
予算額 (単位：千円)		4,186								
財源内訳	国 庫		2,609							
	その他特定財源									
	一般財源		1,577							
[事業の評価]										
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 漁業法、漁業調整規則等に関する知事の諮問に対し、漁業等の実態を調査した上で、的確な答申または適切な指示を発動しており、漁業調整の円滑化、漁業秩序の維持に重要な役割を果たしている。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 本県における漁業秩序の維持のため、漁業法で定められた両委員会による答申や、委員会による指示は不可欠であり、今後とも適宜両委員会を開催し、漁業調整に必要な措置を講じなければならない。旅費については、用務の必要性を改めて精査し、必要最低限の額に見直す。				評価に基 づく今後 の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他		見直し額    △ 295    千 円	

# 平成24年度事務事業カルテ

										会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
				所 属	農林水産 部(庁)		水産 課(室)		漁業管理		G					
事業名	漁業調整事業			含まれる事業数	1		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	S25年度 経過年数 63年	事業終了 予定年度	—年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的]																
漁業法、漁業調整規則、国連海洋法条約関連法を適切に運用し、漁業権の免許および許可等を通じ漁業調整を図り、漁業秩序を維持する。																
[事業内容]																
漁業権免許および漁業許可、漁業権の適切な行使についての指導監督、県内漁業紛争の調整等、漁業調整・指導対策等を講ずる。																
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>																
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等						結果分類		
当初予算額の推移		1,240	442	442	442	2,862	120.8%							III		
2月現計予算額の推移		1,240	442	442	196	2,822	304.9%							III		
決算額の推移		1,195	442	442	196	△ 39.6%							III			
事業効果 の推移	活動 指標	有効許可件数	1,366	1,365	1,370	1,302	1,221	△ 2.7%							III	
	成果 指標															
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]														
区 分		平成24年度予算額				事業開始後の見直し状況						特記事項				
予算額(単位：千円)		2,822														
財源内訳	国 庫		78													
	その他特定財源		607													
	一般財源		2,137													
[事業の評価]																
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 漁業権免許、漁業許可等は、漁業秩序を維持し、資源を有効利用するための漁業管理に重要な役割を果たしている。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 漁業秩序を維持し、資源の有効利用を図りながら適切な漁業管理を推進していくためには、本事業を継続していくことが不可欠である。漁業権の更新に伴う事前調査、漁場図の修正業務については24年度で終了となる。					評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見直し額	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 △ 2,097	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円							

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産		課(室)		漁業管理		G		
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 H8年度 経過年数 17年		事業終了予定年度 ー年度		事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
事業名		海面利用総合調整事業		含まれる事業数		2										
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]														
[事業目的]																
プレジャーボートによる遊魚やダイビング等、様々な海洋性レクリエーションの振興に伴い、漁業者と遊漁者との間で発生するようになった海面の利用に関するトラブルを、海面利用協議会の運営等を通じて、漁業紛争の未然防止および海面の総合的有効利用を図る。さらに「遊漁船業の適性化に関する法律」の改正（平成15年4月施行）に基づき、遊漁船業の健全な発展を推進するとともに、利用者の安全確保や漁場の安定的利用の確保を図る。																
[事業内容]																
・海面利用協議会の設置・運営 ・遊漁船業者の登録に関する業務																
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>																
区分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等						結果分類		
当初予算額の推移		1,009	750	722	722	621	△ 10.8%									
2月現計予算額の推移		1,009	750	722	722	621	△ 10.8%									
決算額の推移		1,009	537	674	499		△ 15.7%									
事業効果 の推移	活動指標	海面利用協議会開催件数		2	1	1	0	0	△ 62.5%							IV
	成果指標	玄達瀬 承認件数		228	323	325	301	315	9.9%							I
	指標	松出シ瀬 承認件数		272	279	287	280	280	0.8%							II
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]														
区分		平成24年度予算額				事業開始後の見直し状況				特記事項						
予算額 (単位：千円)		621				H23 全国遊漁船協会の解散に伴い負担金廃止										
財源内訳	国庫															
	その他特定財源		236													
	一般財源		385													
[事業の評価]																
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価]															
	海面利用のルール作りをすることにより、漁業者と遊漁者とのトラブルを防止することを目的に協議会を開催する。 トラブルなく海面の利用が行われることが重要である。トラブルを防止するルール作りは、合意形成が最重要であり、協議会の設置はトラブル解消に貢献している。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 海面利用秩序を保つためには、本事業を継続して行っていく必要がある。旅費については、用務の必要性を改めて精査し、必要最低限の額に見直す。															
	評価に基づく今後の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見 直 し 額		<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 △ 16		<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円									

# 平成24年度事務事業カルテ

会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )								
所 属		農林水産 部(庁) 水産 課(室)								
事業名 漁業取締事業 福井新々元気宣言における 位置付け		含まれる事業数 2 事業区分	農林水産部(庁) 水産課(室) <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 事業開始年度 S25年度 事業終了予定年度 63年 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務							
[事業目的] 本県の海面及び内水面における漁業秩序維持、水産資源保護を図るため、関係法令に基づく指導、取締りを実施する。										
[事業内容] ①漁業取締船「若越」の運行、維持管理。 ②漁業秩序維持、水産資源保護のため取締り実施。										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)										
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		21,416	58,408	31,564	31,122	26,443	27.6%			
2月現計予算額の推移		21,481	51,258	30,485	30,620	28,209	22.7%			
決算額の推移		21,118	50,840	30,050	30,474		33.8%			
事業効果 の推移	活動 指標	取締日数	122	103	101	102		△ 5.5%	IV	
	成果 指標	検挙件数	1	1	4	0		66.7%	I	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]								
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況			特記事項			
予 算 額 (単位：千円)		28,209								
財源内訳	国 庫									
	その他特定財源		848							
	一 般 財 源		27,361							
[事業の評価]										
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 漁業取締船「若越」及び監視員による指導・監督・取り締まりは、本県における漁業秩序の維持に大きく貢献している。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し		
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 本県における漁業秩序を維持し、水産資源の保護を図るためには、漁業取締船「若越」及び監視員による指導・監督・取り締まりは不可欠であり今後とも継続して実施する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了		
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
				見直し額	千 円					

# 平成24年度事務事業カルテ

会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計		<input type="checkbox"/> 特別会計 ( )
	<input type="checkbox"/> 企業会計 ( )		

事業名 新漁業管理制度推進情報提供事業	含まれる事業数 1	所属 農林水産部 水産課 水産試験場	国庫 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H17年度	経過年数 8年	事業終了予定年度 —年度	事務区分 —年度	自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
------------------------	--------------	-----------------------	--	--	-----------------	------------	-----------------	-------------	---

**[事業目的]**  
水産試験場が沿岸域の漁況状況を収集し、その結果を速報および予報として漁業関係者等に提供するとともに、漁業者からの漁海況に関する質問・相談に対してきめ細かな対応を行い、新漁業管理（TAC）制度の実施推進に資する。

**[事業内容]**

①漁海況情報収集  
漁況調査…県下主要市場に水揚げされる漁獲物の漁業種別・魚種別・銘柄別・日別漁獲量・単価を集計。  
海況調査…福井丸にて本県沿岸の13地点において、海洋観測を行う。若狭町神子地先、および丹生郡越前町米ノ地先の2地点において定地水温を測定する。

②漁海況情報分析  
漁獲量情報、海況情報を集計、加工、分析し、資源量・来遊量・漁場形成等を予測する。

③漁海況情報提供  
漁況調査、海況調査、隣府県情報等の情報をもとに漁海況情報を旬報、月報および年報を発行して提供する。

**[予算額および指標の推移等]** (単位：千円)

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	960	1,630	1,630	1,630	1,735	19.1%			
2月現計予算額の推移	960	1,630	1,630	1,630	1,735	19.1%			
決算額の推移	960	1,630	1,630	1,630	1,735	23.3%			
事業効果の推移	活動指標	日別漁獲量集計件数	2,400	2,400	2,400	2,400	0.0%	年度における一日あたりの漁獲量の集計(=20日×12ヶ月×10漁港)	II
	指標	福井丸航海日数	6	6	6	4	△8.3%	沿岸観測 航海日数	IV
	成果	漁海況情報提供	13	13	13	13	0.0%	年報および毎月の漁海況情報の提供	II
	指標	漁獲量集計・報告	36	36	36	36	0.0%	旬報として各月3回	II

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	1,735	本事業の中で、平成14～16年度において、若狭湾の海況の現況を把握する技術を開発するために、事業を拡充し若狭湾海況変動予測技術開発に取り組んだ。その結果、若狭湾の海況変動の要因、規則性や周期を明らかにすることができた。	[TAC(=Total Allowable Catch)制度] 「海洋生物資源の保存及び管理に関する法律」に基づき平成9年1月1日から実施され、対象魚種ごとに漁獲できる総量を定めることにより、水産資源の維持及び回復を図ろうとする制度。対象魚種は、サンマ・スケトウダラ・マアジ・マイワシ・サバ類・ズワイガニ・スルメイカ(H10.1.1～)の7魚種
財源内訳	1,193		
国庫	542		

**[事業の評価]**

所属の方針	<p>[活動指標、成果指標に対する評価]</p> <p>漁況、海況情報は漁業者が最も必要としており、これらを収集・加工し、漁業者へ提供することが漁業振興のために重要である。漁業者は月報として発行している漁海況情報により、海の様子（水温・塩分）や漁の様相（漁獲量）を数値や図表によるデータで的確に把握することができるようになった。</p> <p>[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]</p> <p>収集・蓄積した漁獲情報や海況情報は、漁業関係者だけでなく多くの県民の方にとっても海の様子や漁様相を把握する上で重要な情報となることから、今後も情報提供を継続していく。調査にかかる旅費については、効率化を図り必要最低減に見直す。</p>	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 見直し額    △52    千円
-------	---	-------------	--





# 平成24年度事務事業カルテ

										会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )		
				所 属	農林水産 部		水産 課		水産試験場				
事業名	定置網網成り調査事業			含まれる事業数	1		事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年 S60年度 経過年数 28年	事業終了 予定年度 ー 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
事業位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]												
[事業目的]													
県下各定置網漁場の定置網の網成り状態（故障箇所の確認や網の伸び状態など）を調査する。													
[事業内容]													
依頼のあった漁業者から負担を求めながら、沿岸漁場調査船「若潮丸」で水中テレビカメラ、魚群探知機を用いて定置網の網成りの状態を調査する。調査後、漁業者にビデオテープ等により説明し、調査結果を報告する。													
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移		350	350	350	350	350	0.0%						
2月現計予算額の推移		70	105	70	175	175	41.7%						
決算額の推移		70	105	70	175	175	55.6%						
事業効果 の推移	活動 指標	定置網調査依頼数	2	3	2	5	5	41.7%					I
	成果 指標	定置網調査実施数	2	3	2	5	5	41.7%	*特記事項に記載				I
	成果 指標	異常箇所発見数	0	0	0	0	0	0.0%					II
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]											
区 分		平成24年度予算額			事業開始後の見直し状況			特記事項					
予算額 (単位：千円)		175						成果指標について 定置網敷設時や漁獲量の減少時に、網の破れやロープの絡み・切れ・網のまくれ上がり等の異常箇所を発見し、正常設置を指導する事業であり、異常箇所の発見数が多いことが必ずしも成果の指標とはならない。					
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源	175											
[事業の評価]													
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 定置漁業は、網成りの状態を適正に保つことが重要であり、調査用機材を持ち、長年の事業蓄積から適切な助言・指導が出来る試験場への漁業者からの調査依頼の要望が強い。また、当該事業により、各漁場の漁業者が定置網敷設状態を把握し、異常箇所の改善を行うことによって、適正な漁獲を確保している。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 当該事業は、定置網漁業者の要望により実施しており、本県の定置漁業の振興に寄与していくためには非常に重要であり、今後とも継続していく。						評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円			

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部		水産 課		水産試験場			
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )			
事業名		水産動物防疫薬事総合対策事業		含まれる事業数		1		事業開始年度		H16年度 経過年数 9年			
事業位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]						事業終了予定年度		H26年度 事務区分			
										<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的]													
海面における栽培漁業および養殖業の振興上障害となる疾病の発生・まん延の防止に努めるとともに、本県の主力養殖種であるトラフグに深刻な被害を与える寄生虫性疾病の予防および駆除対策を講じることによって、本県栽培漁業や養殖業の健全な発展に資する。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産用医薬品の適正使用対策と指導 水産用医薬品の適正使用について、講習会や養殖場の巡回を通じて指導する。</li> <li>・栽培水産動物防疫対策 放流用種苗の魚病検査を実施し、天然海域でのまん延防止に努める。</li> <li>・養殖水産動物防疫対策 養殖用種苗検査・養殖場巡回指導・魚病講習会</li> <li>・トラフグの寄生虫性疾病の予防と対策 駆除対策</li> </ul>													
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移		2,108	2,108	1,906	1,906	2,046	△ 0.6%						
2月現計予算額の推移		2,108	1,957	1,906	1,906	2,274	2.4%						
決算額の推移		2,108	1,957	1,906	1,906		△ 3.3%						
事業効果 の推移	活動 指標	巡回指導回数	31	38	44	33	21	△ 5.7%					IV
	成果 指標	魚病診断件数	80	84	21	68	43	29.3%					I
計画の達成状況		[目標名]					年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]						
区分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項					
予算額 (単位：千円)		2,274		平成11～15年 海面魚病対策事業、魚病の発生、まん延防止 平成16～21年 薬事法改正のため防疫対策および医薬品適正使用の指導 平成22～26年 26年度まで国が事業を延長 平成24年 アワビのキセノハリオチス症検査を開始 9月補正にてヒラメのクドア・セブテンブクタータ検査費を追加				別途「福井県農林水産試験研究評価システム」により評価を行う。					
財源内訳	国庫		1,023										
	その他特定財源												
	一般財源		1,251										
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価]						評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し					
	現場での指導および診断を行い、疾病原因究明や対策を精力的に行うことで、魚病被害の軽減に効果を上げている。また、新たな魚病が発生して県内にまん延する恐れがあることから、養殖業者に魚病に対する情報の周知を行うとともに、検査体制を強化してまん延防止に努めている。							<input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了					
[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]						<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他							
養殖業の振興を図って行くためには、魚病の発生を未然に防ぐ対策が特に重要であり、今後も新たな検査技術の向上を図り、水産用医薬品の適正利用について養殖業者への指導普及を進めていく。調査にかかる旅費については、効率化を図り必要最低減に見直す。						見直し額		△218		千 円			

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部		水産 課		水産試験場		
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 S52年度 経過年数 36年		
事業名 200カイリ水域内漁業資源総合調査				含まれる事業数 1						会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )		
事業位置付け <input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]								事業終了予定年度 一 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的] 我が国の200カイリ水域内漁業資源を正しく評価することにより、生物学的許容漁獲量を解明し、資源の恒久的利用を図り、漁業経営の安定に資するための資料収集および解析を行う。												
[事業内容] ①標本船生物測定調査 ・漁獲成績報告……漁獲量の調査 ・標本船調査……操業実態の調査 ・生物測定調査……魚の質の調査 ・スルメイカ漁場調査……日本海側一斉に行う ②卵稚仔魚群分布調査 卵や稚魚等、将来の漁獲対象となる資源の調査 ③ズワイガニ資源量調査 将来の漁獲対象となるズワイガニ資源状況の調査												
(単位：千円)												
区 分												
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類	
当初予算額の推移		8,282	8,994	8,256	8,081	8,784	1.7%					
2月現計予算額の推移		8,621	8,806	8,081	8,291	8,803	0.7%					
決算額の推移		8,621	8,806	8,081	8,256	△1.3%						
事業効果 の推移	活動指標	資源評価対象種数	21	21	22	22	1.2%				Ⅱ	
	成果指標	生物(魚体)測定件数	4,200	4,083	7,503	17,456	26,416	66.2%	国資源評価対象魚種数			Ⅰ
	市場調査回数	9	42	55	52	108	125.0%				Ⅰ	
	精密測定(体長・体重)数	2,374	3,182	3,332	2,486	3,061	9.1%				Ⅰ	
計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]												
区 分		平成24年度予算額				事業開始後の見直し状況				特記事項		
予算額 (単位：千円)		8,803								[TAC(=Total Allowable Catch)制度] 「海洋生物資源の保存及び管理に関する法律」に基づき平成9年1月1日から実施された。対象魚種ごとに漁獲できる総量を定めることにより、水産資源の維持及び回復を図ろうとする制度。対象魚種は、サンマ・スケトウダラ・マアジ・マイワシ・サバ類・ズワイガニ・スルメイカの7魚種。		
財源内訳	国庫											
	その他特定財源	8,803										
一般財源												
[事業の評価] [活動指標、成果指標に対する評価] 資源評価を行う魚種数の増減はないものの、14年度以降、各魚種ごとの測定数を増やすことにより、より精度の高い評価を行っている。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 水産資源の恒久かつ有効利用を推進していくために精度の高い資源評価が求められており、今後も本事業を継続実施していく。調査にかかる旅費については、効率化を図り必要最低減に見直す。												
所属の方針						評価に基づく今後の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額		<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 △426 千 円		

# 平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )				
				所 属	農林水産 部(庁)	水産 課(室)	水産試験場								
事業名	バフンウニの地蒔き式養殖技術導入試験			含まれる事業数	1	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H22 年度 経過年数 3 年	事業終了予定年度	H26 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的]															
低迷しているバフンウニ漁獲量を回復させるため、これまでに県が行ってきた放流試験で得られた結果を基に、現地（雄島地区）で突発的斃死の発生が考えられる夏場を回避した秋放流翌漁期回収による地蒔き式養殖技術の導入試験を実施するとともに、周年にわたるウニ生息状況、新規加入の状況、漁場環境をモニタリングする。															
[事業内容]															
(1) 地蒔き式養殖技術導入試験 ・ 漁場評価に基づく放流と効果調査（放流数：20万個、地区数：4地区） 海底環境、水質環境、天然資源の生息状況等から最も放流効果が得られる地点を選定、放流し、その結果を調査する。 ・ 放流漁場での生産性向上策の効果を検討し採算性の検討を行う。 (2) モニタリング調査 ・ 生息状況調査、成熟状況調査、水温モニタリング、漁場環境情報の収集・整理を行う。															
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類		
当初予算額の推移				3,049	4,278	2,743	2.2%								
2月現計予算額の推移				3,049	4,278	2,743	2.2%								
決算額の推移				3,049	4,244		39.2%								
事業効果 の推移	活動 指標	放流数		120,000	200,000	200,000	33.3%	(個)						I	
	成果 指標	放流地区数		4	4	4	0.0%	(地区)	梶、崎、安島、米ヶ脇の4地区で各3万個を放流予定					II	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]													
区 分		平成24年度予算額			事業開始後の見直し状況					特記事項					
予算額(単位：千円)		2,743													
財源内訳	国 庫														
	その他特定財源														
一 般 財 源		2,743													
[事業の評価]															
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 計画通りの放流試験が実施でき、混獲率が向上するなどの事例が得られた。 周年にわたるモニタリングデータが収集された。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 繰り返し試験を行うことにより、効果にかかるデータの蓄積をはかり、採算性を検討する。調査にかかる旅費については、効率化を図り必要最低減に見直す。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> △216	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円							

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産		課(室)		水産試験場			
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 H23年度 経過年数 2年		事業終了予定年度 H25年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
事業名		梅投与によるハダムシ等抑制技術の実用化事業		含まれる事業数		2									
位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]													
<p>[事業目的]</p> <p>安全安心な若狭ふぐ養殖技術の確立に向けて、これまで県が行ってきた試験研究を基に、餌に梅を添加してトラフグに与えることでハダムシ等の寄生虫疾病を抑制させる技術を実用化し、県内のトラフグ養殖業者に普及する。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 梅投与によるハダムシ等寄生虫疾病の抑制技術実用化試験（飼育委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の養殖場において飼育委託試験を実施し、トラフグの生育状況、健康状態、寄生数等のデータを収集する。</li> <li>・ 餌に梅を添加した若狭ふぐ養殖技術の実用化を検討する。</li> </ul> <p>(2) 抑制効果の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梅を投与することで、体表粘液がどのように変化するのかを検証する。</li> <li>・ 梅を投与することによる、寄生虫抑制効果を検証する。</li> </ul>															
(単位：千円)															
[予算額および指標の推移等]															
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類		
当初予算額の推移					1,458	1,464	0.4%								
2月現計予算額の推移					1,458	1,464	0.4%								
決算額の推移					1,457										
事業効果の推移	活動指標	委託試験				2	2	0.0%	H23:敦賀市、小浜市 H24:若狭町、高浜町					II	
	成果指標	梅投与した餌で養殖する県内業者数					2							I	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]							
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項							
予 算 額 (単位：千円)		1,464													
財源内訳	国 庫														
	その他特定財源														
	一 般 財 源		1,464												
[事業の評価]															
所属の方針	<p>[活動指標、成果指標に対する評価]</p> <p>各養殖現場における技術の実用化に向けた課題を解決するため、本委託試験は有効である。また、試験は計画通り実施できている。さらに、メディアでの情報発信、養殖現場での梅投与による寄生虫抑制効果の確認等により、養殖業者の関心を高めている。</p> <p>[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]</p> <p>梅の寄生虫抑制効果の科学的な裏づけ、実用化において更なるコスト削減、効率化を目指すため、実証試験および委託による実用化試験を継続する必要がある。また、肉質に対する影響も調査する必要がある。</p>														
	評価に基づく今後の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見 直 し 額			<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止			<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円						

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産 課(室)		水産試験場		
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )		
事業名		トラフグ簡易性判別技術開発事業		含まれる事業数		1		事業開始年度		H23年度 経過年数 2年		
事業位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]						事業終了予定年度		H26年度		
										<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的]												
近年の養殖フグの販売単価が低迷する中で、市場価値の高い白子（精巢）を持つ雄トラフグの計画的・安定的供給を目的として、簡易かつ迅速な雌雄判別の技術開発に取り組む。												
[事業内容]												
1 トラフグの実用的な雌雄判別技術の改良 雌雄判別技術の改良による低コスト化、短時間化を図る。 2 雌雄判別育成法の確立 雌雄別のトラフグの効率的な養殖技術を開発する。												
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移					2,827	3,549	25.5%					
2月現計予算額の推移					2,827	3,549	25.5%					
決算額の推移					2,827							
事業効果 の推移	活動指標	生産現場における雌雄別技術向上			2	2	0.0%	(千尾) ※雌雄判別した尾数				II
	成果指標	経営調査			5	5	0.0%	(海域) 高浜、小浜、若狭、美浜、敦賀の5海域				II
	成果指標	全雄種苗を養殖する県内業者数						(業者) H25より飼育委託試験開始(敦賀市1業者)				
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]				
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予算額 (単位：千円)		3,549										
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源											
	一般財源		3,549									
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価]					評価に基づき今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他		見直し額			
	ゲノム科学的方法で栽培漁業センター産トラフグ稚魚2,000尾（最大1,152尾/日/3サイクル）の雌雄判別を達成可能とした。安価な代替試薬の導入による雌雄判別コスト削減の可能性を見出した。雌雄判別を用いた新しい養殖技術を確立することで、トラフグ養殖の活性化を図ることができる。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] トラフグの雌雄別養殖技術の開発を行うため、雌雄判別に掛かるコストや雌雄判別率の向上等の雌雄判別技術の改良、雌雄別養殖試験を継続する。H25より養殖業者への養殖委託試験を行う。調査にかかる旅費については、効率化を図り必要最低減に見直す。						△46					千 円



# 平成24年度事務事業カルテ

				<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )				
				農林水産 部(庁) <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	水産 課(室) <input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	水産試験場 <input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
事業名	海況情報提供事業	含まれる事業数	1	事業区分	H24年度 経過年数 1年	事業終了 予定年度 H26年度	事務区分	
福井新々元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]							
[事業目的]								
急潮による定置網の破損、速い潮による定置網、一本釣りおよび刺網の操業不可、適水温漁場の探索による燃油の浪費等による操業コストが漁業経営を悪化させる一因となっている。そこで、本県沿岸における潮流や水温の海況情報をリアルタイムで収集・提供するシステムと海況を短期予測（海の天気予報）するモデルを開発し、操業コストの軽減、漁業の効率化につなげる。								
[事業内容]								
(1) リアルタイム海況情報収集システムの開発 ・定置網にリアルタイム観測ブイを設置し、流れと水温データを自動的に収集するシステムを構築する。 (2) 福井県版海況予測モデルの開発 ①漁船を活用した海況情報の収集 ・福井県版海況予測モデルの開発に必要な広域で詳細な海況データを、底曳網漁船、定置網を活用して収集する。 ②福井県版海況予測モデルの開発 ・既存の海況予測モデル（JADE：日本海区水産研究所、DREAMS：応用力学研究所）の応用した福井県版海況予測モデルを開発する。 (3) 漁業者への情報提供システムの開発 ・データと予測値を迅速に漁業者に提供するため、データ処理、予測値算出および配信までを自動化したシステムを開発する。								
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)								
区分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	
当初予算額の推移						31,005		
2月現計予算額の推移						11,574		
決算額の推移								
事業効果 の推移	活動指標	海況データ取得数				68	(件) (H24) リアルタイム海況 (1台×日)、漁船活用型海況 (4隻×月)	
	指標	情報提供システムアンケート・聞き取り数				13	(件) ・情報提供または急潮被害についての聞き取り件数 (漁協×回) (適時に実施予定)	
	成果	リアルタイム海況情報提供数					(件) ・リアルタイム海況 (1回/日) で情報提供した件数 (H25以降)	
	指標	海況予測値提供数					(件) ・海況予想値 (1回/日) を情報提供した件数 (H25以降)	
計画の達成状況 [目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]						
区分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況		特記事項		
予算額 (単位：千円)		11,280						
財源内訳	国庫							
	その他特定財源		11,280					
	一般財源							
[事業の評価]								
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 若狭湾における海況データを広範囲・高密度に収集することと共漁業の現場に合った情報提供を行うことが重要である。				評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 福井県版海況予測モデルの予測結果を提供することで、急潮被害および燃油の浪費の軽減に資する。調査にかかる旅費については、効率化を図り必要最低減に見直す。					<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
						見直し額	△247	千円



# 平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産		課(室)		栽培漁業センター		
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		H23 年度 経過年数 2 年		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )		
事業名		ナマコ簡易種苗生産技術開発事業		含まれる事業数		1		事業開始年度		H23 年度		事業終了予定年度		
事業位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]								H25 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的]														
近年開発された産卵誘発ホルモン等の効率的な活用によるナマコの簡易な種苗生産技術を開発するため、福井県漁港漁場協会からの受託により研究開発し、漁業者に普及するとともに資源量の増加を図る。														
[事業内容]														
(1) ナマコの簡易種苗生産技術の開発 近年、産卵誘発ホルモンや餌料製品（濃縮珪藻、海藻粉末）などの製品化が進んだことから、これらを利用した簡易種苗生産技術を開発し習得することで、生産過程の省力化、低コスト化等を実現する。 (2) 漁業者団体への技術移転 開発した簡易種苗生産技術を漁業者に技術移転する。														
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)														
区分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類	
当初予算額の推移					1,000	1,500	50.0%							
2月現計予算額の推移					1,000	1,500	50.0%							
決算額の推移					1,000									
事業効果の推移	活動指標	種苗生産計画個数			100	150	50.0%	(千個)						I
	成果指標	種苗売り払い個数			100	150	50.0%	(千個)						I
	成果指標	県内の漁獲高			197	112	△ 43.2%	(t) 福井県水産試験場調べ						IV
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]								
区分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項						
予算額 (単位：千円)		1,500		24年度から10万個→15万個に増産										
財源内訳	国庫													
	その他特定財源		1,500											
	一般財源													
[事業の評価]														
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価]			漁業者自らが行うことができる簡易な種苗生産技術を開発し、その技術を漁業者へ移転し、資源へ還元することで資源の安定を図ることができる。			評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]			冬季の閑散期の漁業収入源として重要な種であり、種苗の需要が高まる可能性があるが、施設や労力面から種苗の増産にも限界がある。そこで、種苗生産技術の移転とともに天然採苗等の技術指導を含めて、ナマコの資源安定を図っていく必要がある。				<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他					
							見直し額	千 円						

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産		課(室)		栽培漁業センター			
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		H3年度 事業開始年度 22年		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )			
事業名		含まれる事業数		1						事業終了予定年度		事務区分			
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]								— 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的]															
沿岸主要魚種の種苗を大量に生産し、放流することによって、生産性を高め、伸び悩む沿岸漁業の「とる漁業からつくる漁業」への転換を図るための基礎的方策である放流種苗の生産事業を実施する。併せて、大型種苗を出荷するための早期種苗生産試験を実施する。															
[事業内容]															
1 種苗供給 採卵、孵化管理後、45mmサイズ種苗を放流実施団体に供給する。															
2 早期産卵試験 大型種苗（45～60mmサイズ）で出荷するための早期種苗生産試験を実施する。															
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類		
当初予算額の推移		9,885	9,885	7,362	7,362	7,362	△ 6.4%								
2月現計予算額の推移		9,885	8,929	7,362	7,362	7,362	△ 6.8%								
決算額の推移		9,818	8,929	7,284	7,277		△ 9.2%								
事業効果の推移	活動指標	種苗生産計画尾数	400	400	250	250	250	△ 9.4%	(千尾)				IV		
	指標	種苗売り払い尾数	358	290	282	280	279	△ 5.7%	(千尾)				IV		
	成果指標	県内の漁獲高	76	63	60	60	52	△ 8.8%	(t) H20, 21農林水産統計(属人)、H22～福井県水産試験場調べ				IV		
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ]		/整備目標		年度 [ ]		= [ ]					
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項							
予 算 額 (単位：千円)		7,362		種苗生産数 ～平成8年度 300千尾 平成9年度～ 400千尾 平成22年度～ 250千尾											
財源内訳	国 庫				大型種苗の出荷 ～平成16年度 30mm ～平成19年度 40mm 平成20年度～ 45mm										
	その他特定財源		6,291												
一 般 財 源		1,071													
[事業の評価]															
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 漁業者自らが、ヒラメの中間育成および放流を積極的に実践しており「つくり育てる漁業」に対する意識啓発および地域の活性化が図られている。														
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 栽培漁業の中核的魚種となっているヒラメは、漁業者からの期待も大きいことから、本事業を継続して実施すべきである。特に、漁業者にメリットのある大型種苗の供給について重点的に取り組んでいく。25年度からは、種苗生産数を250千尾から300千尾へと増産し、一般財源の持出しを減らすよう努力する。														
				評価に基づく今後の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他		見直し額		△836		千 円			

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産		課(室)		栽培漁業センター	
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		H11年度 経過年数 14年		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
事業名		トラフグ養殖種苗生産事業		含まれる事業数		1							
事業位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]											
[事業目的]													
県内養殖漁業の中心であるトラフグ種苗を量産し供給することによって養殖漁業の振興に寄与し、本県沿岸漁業と漁村地域の発展に資するため種苗生産事業を実施する。また、併せて、量産技術開発試験事業において残されてた課題、すなわち、自家養成親魚の確保や生産コストの低減等についての量産技術開発に取り組み、量産技術のマニュアル化を推進し、良質種苗の安定的な供給体制を確立する。													
[事業内容]													
1 種苗供給 採卵、孵化管理後、70mmサイズ(70,000尾)の種苗を県内養殖漁業者へ供給する。 2 技術開発 ・良質親魚を安定的に確保するため稚魚から親魚までの自家養成技術の検討 ・低コスト種苗量産技術の検討 ・病気に対する抵抗力の強い種苗生産技術の検討													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類
当初予算額の推移		11,514	11,514	10,997	10,997	10,997	△ 1.1%						
2月現計予算額の推移		11,514	11,514	10,997	10,997	10,997	△ 1.1%						
決算額の推移		11,460	10,789	10,862	10,972		△ 1.4%						
事業効果 の推移	活動指標	種苗生産計画尾数	100	100	70	70	70	△ 7.5%	(千尾)				IV
	成果指標	種苗売り払い尾数	84	78	70	70	71.5	△ 3.8%	(千尾)				III
	成果指標	県内の養殖生産量	120	87	125	68		△ 9.8%	(t)農林水産統計(属人)、H20,21農林水産統計(属人)、H22～若狭地区水産業普及指導員室調べ。				IV
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]					
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項					
予 算 額 (単位：千円)		10,997		種苗生産数(1千尾は養成親魚)				平成16年度～トラフグ棟の新設に伴い生産数を増産した。 平成19年度～他産地の種苗との差別化を図るため一部大型種苗の生産を開始。 平成22年度～生産見直しにより、大型種苗(70mm)のみの生産を開始。					
財源内訳	国 庫				～平成15年度 40千尾(50mm) ～平成16年度 150千尾(50mm)								
	その他特定財源		6,792		平成19年度～ 100千尾【内訳 75千尾(50mm)・25千尾(70mm)】								
	一 般 財 源		4,205		平成22年度～ 70千尾【内訳(70mm)】								
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価]			当センター産種苗の評価は地区により異なることから、種苗の質の向上をさらに図ることが必要である。また、トラフグ魚価は中国産フグの流入により低下の一方であり、養殖業存亡にも影響を与え、センター産種苗の販売も非常に厳しい状況にある。				評価に基づく今後の対応		<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]			養殖漁業者の一部は、他産地との競合により経営状態が急激に悪化していることから、他産地との差別化を図るとともに、漁業者の需要ニーズに即応した種苗の供給体制が必要であるため平成22年度より大型種苗(70mm)のみの生産とした。						<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他		見直し額	

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産		課(室)		内水面総合センター		会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )	
事業名	淡水魚類防疫薬事総合対策事業			含まれる事業数	1	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H16年度 経過年数 9年	事業終了 予定年度	H26年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
事業位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]															
[事業目的]																
淡水魚養殖地域における魚病被害を少なくするために養殖魚の魚病診断、対策指導を行い、養殖業者に対しては魚病について最新情報の周知、普及を図る。また、魚病検査を実施し河川湖沼に放流される種苗の健苗性の維持を図る。 さらに、これらの防疫対策に加え、改正薬事法に関する水産用医薬品の適正使用の指導を強化することに努め、水産養殖場の安定供給体制の確立を目指す。																
[事業内容]																
水産用医薬品適正使用の指導：改正薬事法に基づく水産用医薬品の適正使用について、講習会や巡回指導を実施する。 放流魚病対策：河川湖沼に放流される種苗の魚病検査を行い、異常魚に対しては対策を講じ指導を行う。 養殖魚病対策：養殖種苗の入荷時や魚病発生時に検査や対策指導を行うとともに魚病講習会を開催し、防疫技術の向上、最新情報の周知、普及を図る。 特定魚病対策：冷水病について河川での調査研究を実施する。																
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>																
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等						結果分類		
当初予算額の推移		2,233	2,233	1,000	1,000	1,004	△ 13.7%									
2月現計予算額の推移		2,233	1,356	1,000	1,000	1,004	△ 16.3%									
決算額の推移		2,233	2,233	1,000	1,000	1,004	△ 18.4%									
事業効果 の推移	活動 指標	魚病巡回指導 (回)	12	12	25	25	25	27.1%							I	
	成果 指標	魚病診断件数	12	17	13	12	11	0.5%							II	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]														
区 分		平成24年度予算額				事業開始後の見直し状況						特記事項				
予算額(単位：千円)		1,004				平成11～15年 内水面魚病対策事業、魚病の発生、まん延防止 平成16～21年 薬事法改正のため防疫対策および医薬品適正使用の指導 平成22～26年 26年度まで国が事業を延長										
財源内訳	国 庫	502														
	その他特定財源															
		一 般 財 源	502													
[事業の評価]																
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 巡回指導による最新情報の普及の結果、魚病相談件数は減少している。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 魚病発生原因の多様化に対応するために、今後も検査設備の整備、研究の推進を図っていく。調査にかかる旅費については、効率化を図り必要最低減に見直す。						評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> △252	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円						

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属	農林水産部 部(庁)		水産		課(室)		内水面総合センター	
				事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度		H22年度	事業終了予定年度	H24年度	事務区分
					<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金	事業開始年度		経過年数			<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
					<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他	事業開始年度		3年			<input type="checkbox"/> 法定受託事務
事業名		アユ種苗性向上技術開発事業		含まれる事業数		2						
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]										
[事業目的]												
県内漁業協同組合から高い評価を得ているふくいアユ（センター産海産系人工種苗）の種苗性向上（さらに元気がよい、さらに良く釣れる）と種苗生産に必要な採卵用天然親魚の安定確保を目的とした技術を開発する。												
[事業内容]												
① 春季河川における天然遡上アユ稚魚の採捕、搬送技術開発試験 ・ 採捕に最適な時期、時間、場所および機具を明らかにする。 ・ 移送時、収容時の最適な取扱い方法を明らかにする。 ② 親魚養成技術開発試験 ・ 最適飼育環境および飼育方法を明らかにする。 ③ 生産種苗の種苗性確認試験 ・ 成群生比較、とびはね検定、放流河川現場釣獲試験等により種苗性を確認する。												
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移				1,500	1,323	1,108	△ 14.0%					
2月現計予算額の推移				1,500	1,323	1,108	△ 14.0%					
決算額の推移				1,500	1,257		△ 16.2%					
事業効果の推移	活動指標	試験放流用種苗生産目標数(尾)		10,000	10,000	-	0.0%					II
	成果指標	試験放流種苗の採捕率(%)			1	2	100.0%					I
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]				
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予 算 額 (単位：千円)		1,108						事業期間が24年度までのため、翌年度の試験放流用として生産していた種苗1万尾については、24年度は生産しない。				
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源											
	一 般 財 源		1,108									
[事業の評価]												
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 試験放流種苗を生産することにより、放流後の採捕率の向上を目指す。					評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 24年度をもって本事業は廃止となり、25年度からは後継事業となる「元気なふくいアユ種苗生産技術開発事業」を開始する。						<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他			
							見直し額	△1,108	千 円			

# 平成24年度事務事業カルテ

				所 属		農林水産 部(庁)		水産 課(室)		内水面総合センター		会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )		
事業名	アユ種苗生産事業	含まれる事業数	1	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	S57年度 経過年数 31年	事業終了予定年度	—年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
[事業目的] 県内河川のアユ資源の維持培養と増殖を図る。															
[事業内容] 天然遡上アユ資源の減少や他県産アユの供給量が年変動するため、計画生産を行った145万尾の人工産稚アユを放流する。															
(単位：千円)															
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類			
当初予算額の推移		26,635	44,160	29,962	29,962	28,579	7.3%								
2月現計予算額の推移		26,635	34,814	29,962	29,962	28,579	3.0%								
決算額の推移		26,635	34,814	29,962	29,607		5.2%								
事業効果 の推移	活動指標	種苗生産計画量 (kg)	3,422	4,500	4,225	4,225	4,225	6.3%					I		
	指標	生産量 (kg)	4,390	4,685	4,285	3,735	3,925	△ 2.4%					III		
	成果指標	漁獲量 (t) ※遊魚者採捕量含めず													
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]							
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項							
予算額 (単位：千円)		28,579		平成20年度 100万尾 平成21年度 200万尾(放流種苗100万尾、中間育成用100万尾) 平成22年度 145万尾(放流種苗100万尾、中間育成用 45万尾)											
財源内訳	国 庫														
	その他特定財源		16,150												
一般財源		12,429													
[事業の評価]															
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 近年の生産量はおおむね計画量を上回っている。H23は中間育成用のアユの出荷が好調だったため、種苗売払い収入は目標を達成している。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 県内河川のアユ資源維持、安定供給のためにも経費削減を図り種苗生産を継続していく。旅費については、効率化を図り必要最低減に見直す。					評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見直し額	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止 △7	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円						

# 平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属		農林水産部 部(庁)		水産		課(室)		漁港漁村 G		
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		H11 年度 事業開始年度 14 年		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )		
事業名		プレジャーボート等対策事業		含まれる事業数		1		事業区分		H11 年度 経過年数 14 年		事業終了 予定年度		
福井新々元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]								<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事務区分 一 年 度		
[事業目的]														
小浜漁港においては近年の海洋性レクリエーションの普及とともにプレジャーボート等の漁港利用が増大し、無秩序な係留等による漁業者とのトラブルが発生していることから、漁船とプレジャーボート等を棲み分けて係留させるためにプレジャーボート等の係留施設の整備を図り、漁業生産活動と健全な海洋性レクリエーション活動の推進を図って調和の取れた海面利用を促進する。														
[事業内容]														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既設防波堤・護岸等に係船環等を、水域に灯浮標等を設置してプレジャーボート等用の係留施設および占用泊地の整備を図る。(指定管理施設として整備済み)</li> <li>・ 指定管理者の指導、助言</li> <li>・ 漁港区域内放置禁止区域のパトロール</li> <li>・ 指定管理施設における係留施設等の改修</li> </ul>														
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類	
当初予算額の推移		2,064	2,064	2,064	2,064	1,684	△ 4.6%							
2月現計予算額の推移		2,064	2,064	2,064	2,064	1,684	△ 4.6%							
決算額の推移		2,064	2,064	2,064	2,271		3.3%							
事業効果 の推移	活動 指標	パトロール実施回数	96	77	73	73	74	△ 5.9%						IV
	成果 指標	不法係留隻数割合 (%)	44.2	42.4	25.7	8.2	0.0	△ 52.9%	(プレジャーボート数 H19:143 H20:138 H21:151 H22:148 H23:134 H24:130)					IV
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]												
区 分		平成24年度予算額				事業開始後の見直し状況				特記事項				
予 算 額 (単位：千円)		1,684												
財源内訳	国 庫													
	その他特定財源		4,932											
	一 般 財 源		△ 3,248											
[事業の評価]														
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価]					評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他							
	漁港区域内放置禁止区域のパトロールを実施することにより、不法係留の抑制効果がある。24年度は不法係留がなくなり効果があったと評価できる。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 漁船とプレジャーボート等のトラブルを防止し、漁港の適正な管理運営を行うために本事業を継続し、不法係留をなくすためパトロールおよび指導の強化を行う。						見直し額			千 円				

# 平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )			
			所 属	農林水産部 部(庁)		水産 課(室)		漁港漁村 G						
事業名	海面環境保全事業		含まれる事業数	1		事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H4 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度	— 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
[事業目的]														
漁港周辺および浜辺の環境美化については、漁業者をはじめ地域住民が積極的にボランティア活動を行っているが、ボランティア活動の範囲ではカバーできない海面の浮遊物や海底の沈殿物を収集処理し、一層の環境保全を図る。														
[事業内容]														
・ 漁港区域および付近の海域を対象に、漁船と潜水夫による海面浮遊物と海底沈殿物を収集処理する。 ・ クリーンアップ福井大作戦の統一行動日等に実施 ・ 委託先 福井県漁業協同組合連合会														
[予算額および指標の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類	
当初予算額の推移		9,500	8,981	8,000	5,063	5,063	△ 13.3%							
2月現計予算額の推移		9,500	8,981	8,000	5,063	5,063	△ 13.3%							
決算額の推移		9,489	8,898	7,984	5,011		△ 17.9%							
事業効果 の推移	活動指標	参加人数(人)	4,894	4,745	4,630	4,630	△ 1.8%						III	
	指標	活動日数(日)	24	23	18	25	4.3%						II	
	成果指標	ゴミ回収量(袋)	11,347	9,913	9,953	8,620	△ 8.5%						IV	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]												
区 分		平成24年度予算額			事業開始後の見直し状況			特記事項						
予算額(単位：千円)		5,063												
財源内訳	国庫													
	その他特定財源													
	一般財源		5,063											
[事業の評価]														
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 毎年一定した参加者の確保が図られている。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 海をきれいにする実行委員会を組織している14漁業協同組合を拠点として環境美化活動が定着化しており、地域住民に対しての啓蒙活動も活発化し、マナーも向上していることから本事業を継続していく。					評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円					







